

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人二本ユネスコ協会
連盟 箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013
箕面市坊島 4-5-20 箕面マーケットパーク
ヴィソラ WEST 2F みのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会(メールボックス)
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp

◆ 目次 ◆

- 「気仙沼の食とお酒を楽しむ会」を開催
- 「気仙沼の食とお酒を楽しむ会」の感想
- 世界識字運動 箕面ユネスコ版～ -2-
- 今後の予定



ご参加ありがとうございました！

「3.11を忘れない」

気仙沼の食材とお酒を楽しむ会！

箕面ユネスコ協会主催で1月25日に、らいとぴあ21で

「気仙沼の食とお酒を楽しむ会」を開催いたしました。

「これからは、被災地だから被災地のものだからということではなく、素晴らしいところだから面白いやつらがいるから気仙沼に行ってみよう、美味しいものだから気仙沼のものを買おう、という自然なスタンスで、未永くおつきあいを続けていただければと思います。」

…気仙沼からの声



おいしかったよ！！

「気仙沼の食とお酒を楽しむ会」に参加して



カキ・めかじき・ばちまぐろめかじきハーモニー・さより・もうかの☆・まだらのキク・なまこ・水ガレイ・ほたて・はらこ飯・ふかひれスープ 等々



次々出していただく料理で各テーブルの上は置き場がなくなるほどのお料理を前に、東北に行かれた方からの今の状況や萱野小学校・豊川南小学校の「命」の取り組みの話や聞き会に参加することができました。前に映し出されるスライドには、カキの養殖やしょうゆ工場の再開など、「元気な気仙沼」の人の表情があり、とても印象的でした。

その一方で、手つかずのままの被災地の実態や長期にわたる避難生活での課題などについても認識を新たにする機会でもありました。

もうすぐ、3回目の3.11がやってきます。

1.17の阪神淡路大震災からも20年近くが過ぎ、体験した私たちが子どもたちへどう伝えていくのかを考えさせられています。

今こそ「one for all all for one」一人ひとりが互いに「しあわせ運べるように！」なりたと思います。

テーブルの上の新鮮な食材と、坂口さんの心のこもった調理で、気仙沼の海の幸を堪能しながら東北に気持ちを寄せる、東北から元気をもらうひと時でした。

ごちそうさん

これからも「ず〜と ずっとだいすきだよ！」



※「しあわせ 運べるように」・・・阪神淡路大震災で被災した臼井真さん（神戸市 小学校）が作詞・作曲された曲です。この曲は神戸復興を願うシンボル曲となり、東日本大震災後は被災地でも歌われている。

※「ず〜と ずっと だいすきだよ」・・・作・絵 ハンス・ウィルヘルム

小学校の国語の教科書にも載っているお話です。

読んでみてください。

（笹川 実千代）

「おとう」はタイでも通り名です。

中嶋嘉伸さんの案内でミンブリー市場を通り抜け、運河を渡ったところがそのスラム地区でした。朽ちかけそうな埃にまみれた長屋風の建物やバラックと、やっと人がすれ違うことの出来る路地を何度か曲がり抜け広場に着きました。

小野原在住のタイの方に書いていただいた私たちの事前の案内ポスターが効いたのか、約束の時間には数人の子どもたちが集まっていました。ところが見知らぬ外国のおっさんたちを遠巻きに眺めては近寄ろうとはしません。



(ミンブリーの地域の風景)



(「おとう」と子どもたち)

地区の子どもたちを何人か集めて嘉信さんが広場に帰ってきた瞬間に、遠巻きだった子どもたちが「おとうーっ」と白い歯を見せながら、鉛筆を広げていたセメントのテーブルに駆け寄ってきました。タイでも「おとうー」と呼ばれ、その地区にはちゃんと位置づいている嘉信さんを物語る光景でした。

一人3本ずつ好きな色のマーカーを選ぶ作業を始める頃には、数人の大人たちもようすを伺いに来てくれ、その後は箕面の小学校教室で見られる風景でした。元気よく3本を選ぶ子、なかなか決められない子、4本目にありつこうとする子など共通の仕草でした。次に新しい鉛筆、きれいに削り揃えてキャップを被せた鉛筆と選んでいくころには笑顔と歓声が広場一杯に溢れていました。現地 NPO の責任者の方から両手を合わせてお礼を言われた時には面映く、後の作業を託して広場を後にしました。

「I want to go to Japan.」

ホテルから車で半時間ほどのイスラム教徒集落に住む18才の少女と話す機会があり、彼女が語ってくれたフレーズです。拙い英語で「Why・・・」とやりとりをしましたが、あとは微笑むばかりでした。嘉伸さんから聞く日本は、豊かで優しい人たちが住む国に思えたのでしょ。

東南アジアの子どもたちが「日本に行きたい」とあこがれ得る国であり続けるにはと考えさせられた今回の旅でした。

えんぴつへのご協力ありがとうございました。

多くの皆さんにご協力いただいた鉛筆は、おかげさまで箕面ユネスコ世界寺子屋運動の10年分ぐらいの本数が集まりました。旅の荷物との重量の関係で、今回はタイの子どもたちとカンボジアの子どもたちに届けられる分だけ持参しました。来年度からは嘉伸さんが関わるモンゴル・フィリピン・タイ・カンボジアの地域の子どものためのへの応援に活用していく予定です。

☆☆☆☆☆

書きそんじハガキ キャンペーンを実施 ご協力ありがとうございました。

箕面ユネスコ協会では、書きそんじハガキ キャンペーンを実施しました。あて名を間違えてしまったり、逆さまに印刷をしてしまったりしたハガキ、使わないで余ってしまった年賀状や未使用の切手が募金になります。

今回の書きそんじハガキ キャンペーンでは、ハガキ以外にも図書券、図書カード、未使用切手、おこめ券やピール券をはじめとした商品券、Quo カード、未使用テレホンカードも積極的に集めています。使っていない商品券や、昔集めていた切手コレクションなども、世界寺子屋運動への募金となります。また、一部はユネスコスクールなどの「いのちを大切に」活動の支援金とします。集計いたしましたご報告は次回号でいたします。

☆☆☆☆☆

2014.6.7～8 日本ユネスコ協会運動 2014 全国大会(北海道知床於)

ユネスコ全国大会 / 本年6月、知床で開催

世界平和や相互理解などユネスコ憲章の理念に賛同し、全国各地で活動するユネスコ協会関係者が集う「第70回日本ユネスコ運動全国大会」(公益社団法人日本ユネスコ協会連盟などの主催)が2014年6月知床地域(羅臼町、オホーツク管内斜里町)で初めて開かれます。(詳細は次号でお知らせします。)

☆☆☆☆☆

今後の日程

■3月15日(土) 東日本大震災復興支援イベント ～3.11を忘れない～
箕面市民活動センター (12:00～17:00)

パネル展と物産展に参加予定です。詳細は別紙チラシをご覧ください。

会員のご協力をお願いします。少しの時間でもお手伝いできる方は坂口までご連絡ください。



■4月20日(日) 定例役員会 10:00 らいとぴあ21

■5月20日(日) 2014年度定期総会 10:00 会場は後日お知らせします。